



内科・胃腸科・呼吸器科・放射線科

# ゆとりが丘クリニック 便り

〒020-0638 岩手県滝沢市土沢541番地

TEL 019-699-1122 / FAX 019-699-1121

令和7年1月28日(2025) 第0140号



## 『リーガルハイ』

院長メモ

今年の正月は何をするでもなく過ごした。テレビはあまり見ないのでネットで配信されているいくつかのドラマを見ていた。その中で途中から見始めて最後まで行きつかず寝てしまったので全体は見えていないのだが、「リーガルハイ」という弁護士ドラマ

のセリフが何とも気になった。医療事故で亡くなった男性をめぐる遺族側と病院側の弁護士の訴訟に関するやり取りである。

医療の進歩は科学の進歩によるものである、とする病院側弁護士の発言に対して遺族側弁護士（A）と病院側弁護士（B）との間で法定での発言が繰り広げられる。

- (A) 何が科学だ、科学なら人を殺してもいいのか！
- (B) 進歩と引き換えに犠牲を要求してきたのは科学だ。
- (A) じゃあ犠牲者はどうなる。
- (B) 気の毒だ。
- (A) それで済みますのか！済むはずがない。残された人間の悲しみはどうなる。彼女（遺族である奥さん）がどんな思いで生きてきたと思っている。
- (B) 死んだからこそ意味があるんだよ。
- (A) なんだと。
- (B) 死は希望だ。
- (A) ふざけている。
- (B) その死の一つ一つが医療を進歩させてきた。現在の医療はその累々たる屍の上で成り立っている。誰しも医学の進歩のためには犠牲があっても仕方がないと思っではいるはずだ。その恩恵を受けたいからだ。しかしその犠牲が自分や自分の家族であると分かった途端にこう言うんだ「話が違う」なんで自分や家族がこんな目に合わなければいけないんだ。誰のせいだ。誰が悪いんだ。誰を吊るし上げればいけないんだ。教えてやる。訴えたいなら科学を訴えろ！あなたの御主人を救えなかったのは科学だ。



(裏面へ)

- (A) そんなことできるわけないだろう！
- (B) だったらせめて狂気の世界で生活している者達の邪魔をするな！

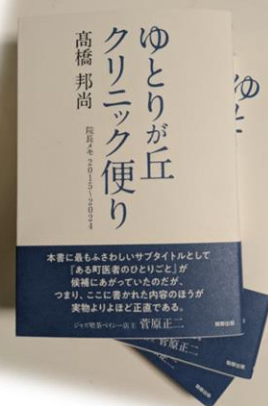
何とも気になるやり取りではあるが、ドラマだからこそ一片の真理も含んでいるように思えてならない。ここで言う狂気の世界で生活している者達というのは、充分とはいえない環境の中でひたすらに医学研究に励む研究者、そして日常の臨床の最前線で我が身を省みず日夜働き続ける医療者達のことを指しているのだろう。医師の仕事を生業とし病を得て昨年数回の入院を経て患者の身も経験した私には、これらのドラマのセリフが一般の視聴者とはやや異なるように聞こえたのかもしれない。

## 🖋️ 恥ずかしながら本📖になりました

10数年に亘っての当院の「ゆとりが丘クリニック便り」がまとまった形でお読みいただけます。サラッと一度読んでいただければ幸甚です。

【本体 1,500 円+税】  
出版元 駒草出版

筆者 高橋邦尚



## 休診・診療時間のお知らせ



(日曜・祭日は休診日です)

2025年2月

### 通常通り診療の予定です

診療日・時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後診療 15:00~18:00	○	○	休	○	○	休	休

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	⑪	12	13	14	15
⑬	16	17	18	19	20	21
⑳	㉑	25	26	27	28	

※都合により代理診療並びに休診等変更になる事がございます  
ご了承の程お願いいたします

○ = 休診日 ★ = 診療時間変更

このマガジンは当クリニックホームページ(クリニック便り)でもご覧になれます。

ゆとりが丘クリニック 検索